

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 29 年 6 月 22 日 (2017.6.22)

【公表番号】特表 2016-526832 (P2016-526832A)
 【公表日】平成 28 年 9 月 5 日 (2016.9.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-053
 【出願番号】特願 2016-522184 (P2016-522184)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 W 72/04 1 3 6

H 0 4 W 72/04 1 1 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 27 日 (2017.4.27)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 2 5 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 2 5 1 】

命令情報は、さらに、ダウンリンク制御情報のフォーマット、CRC をスクランブルするための RNTI、及びダウンリンク物理制御チャネル検出のための探索空間を示すためにも使用される。ここで、ダウンリンク物理制御チャネルは、共通の探索空間で伝送することができる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 2 5 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 2 5 2 】

基地局は、命令情報を送信することによって、ダウンリンク物理制御チャネルの検出方法をユーザ機器に対して示し、ユーザ機器は、基地局によって示された検出方法に従って共通の探索空間内でダウンリンク物理制御チャネルを検出することに留意されたい。このようにして、ユーザ機器によって実行される検出の数を低減することができ、これにより、ユーザ機器が実行する必要がある複数回のブラインド検出によって生じるアクティブ化時間又は非アクティブ化時間が長くなることを回避することができる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 2 7 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 2 7 1 】

具体的には、ユーザ機器は、ダウンリンク物理制御チャネルの共通の探索空間で、RNTI (基地局が CRC をスクランブルするためにキャリアアクティブ化 RNTI を使用している場合) に従ってダウンリンク物理制御チャネルの CRC をスクランブル解除して、第 1 のキャリア情報を伝送するダウンリンク物理制御チャネルを決定することができる。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 2 9 1

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 2 9 1 】

命令情報は、さらに、ダウンリンク制御情報のフォーマット、CRCをスクランブルするためのRNTI、及びダウンリンク物理制御チャネル検出のための探索空間を示すためにも使用される。ここで、ダウンリンク物理制御チャネルは、共通の探索空間で伝送される。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 2 9 2

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 2 9 2 】

基地局は、命令情報を送信することによって、ダウンリンク物理制御チャネルの検出方法をユーザ機器に対して示し、ユーザ機器は、基地局によって示された検出方法に従って共通の探索空間内でダウンリンク物理制御チャネルを検出することに留意されたい。このようにして、ユーザ機器によって実行される検出の数を低減することができ、これにより、ユーザ機器が実行する必要がある複数回のブラインド検出によって生じるアクティブ化時間又は非アクティブ化時間が長くなることを回避することができる。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 3 3 9

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 3 3 9 】

命令情報は、さらに、ダウンリンク制御情報のフォーマット、CRCをスクランブルするためのRNTI、及びダウンリンク物理制御チャネル検出のための探索空間を示すためにも使用される。ここで、ダウンリンク物理制御チャネルは、共通の探索空間で伝送される。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 3 4 0

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 3 4 0 】

基地局は、命令情報を送信することによって、ダウンリンク物理制御チャネルの検出方法をユーザ機器に対して示し、ユーザ機器は、基地局によって示された検出方法に従って共通の探索空間内でダウンリンク物理制御チャネルを検出することに留意されたい。このようにして、ユーザ機器によって実行される検出の数を低減することができ、これにより、ユーザ機器が実行する必要がある複数回のブラインド検出によって生じるアクティブ化時間又は非アクティブ化時間が長くなることを回避することができる。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 3 8 2

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 3 8 2 】

本実施形態では、命令情報は、さらに、物理ダウンリンク共有チャネルのフォーマット及び物理ダウンリンク共有チャネル検出のための探索空間をユーザ機器に対して示すため

にも使用される。ここで、物理ダウンリンク共有チャネルは、共通の探索空間で伝送することができる。第1のキャリア情報は、キャリアのキャリア状況を含み、第1のキャリア情報は、ユーザ機器がキャリア状況に従ってそのキャリア上で通信を実行できるようにするために使用される。

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0399

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0399】

命令情報は、具体的には、物理ブロードキャストチャネルのフォーマット及び物理ブロードキャストチャネル検出のための探索空間を示すために使用され、物理ブロードキャストチャネルは、共通の探索空間で伝送することができる。

【誤訳訂正10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0400

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0400】

基地局は、命令情報を送信することによって、物理ブロードキャストチャネルの検出方法をユーザ機器に対して示し、ユーザ機器は、基地局によって示された検出方法に従って共通の探索空間内で物理ブロードキャストチャネルを検出することに留意されたい。このようにして、ユーザ機器によって実行される検出の数を低減することができ、これにより、ユーザ機器が実行する必要がある複数回のブラインド検出によって生じるアクティブ化時間又は非アクティブ化時間が長くなることを回避することができる。

【誤訳訂正11】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0404

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0404】

命令情報は、具体的には、ダウンリンク物理制御チャネルのフォーマット、CRCをスクランブルするためのRNTI、及びダウンリンク物理制御チャネル検出のための探索空間を示すために使用され、ダウンリンク物理制御チャネルは、共通の探索空間で伝送することができる。

【誤訳訂正12】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0405

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0405】

基地局は、命令情報を送信することによって、ダウンリンク物理制御チャネルの検出方法をユーザ機器に対して示し、ユーザ機器は、基地局によって示された検出方法に従って共通の探索空間内でダウンリンク物理制御チャネルを検出することに留意されたい。このようにして、ユーザ機器によって実行される検出の数を低減することができ、これにより、ユーザ機器が実行する必要がある複数回のブラインド検出によって生じるアクティブ化時間又は非アクティブ化時間が長くなることを回避することができる。